

2019年度 社会調査法研修
国際協力に携わる実務者のための
質的調査法入門



質的データの収集方法と分析方法について学び、
途上国の現場で活用する基礎作りを目指します！



事象、人々、地域の特徴、特異性などに関し社会文化的文脈の中で包括的に理解を深める手段としての質的社会調査法とはどのようなものなのか、広く用いられているインタビュー、フォーカスグループディスカッション等、各種手法の紹介、質的データの分析に関する基本的理念等を学び、現場で実践できる知識の習得を目指します。

- 日時： 2019年7月3日（水）～ 5日（金） 9:30～16:30
- 講師： 松山 章子氏（津田塾大学多文化・国際協力学科教授）
- 場所： FASiDセミナールーム（東京都港区麻布台）
- 対象： 国際協力事業に携わる実務者（開発コンサルタント、NGO職員、国際機関職員等）
- 受講費： 30,000円（税込）、法人賛助会員・FASiDフレンズは 24,000円（税込）
- 定員： 20名程度
- 応募締切： 2019年6月24日（月） 12:00（正午）※
※応募者多数の場合、早めに締め切らせていただくこともありますので、どうぞお早めにご応募ください。
また、応募人数が少ない場合、実施を見送らせていただくことがあります。
- 留意事項： 次頁の留意事項をよくお読みの上でご応募ください。

内容詳細（予定） ※内容は若干変更となる可能性があります。

	内容詳細
1日目	講義： 研修の目的と概要
	講義： 質的研究とは何か？
	講義： フィールドワーク、参与観察、インタビュー
	演習： インタビューを深める（プロービング）
2日目	講義： FGD（フォーカス・グループ・ディスカッション）
	演習： FGD（フォーカス・グループ・ディスカッション）
	講義： システマティック・データ収集法
	演習： パイルソート、ランキング等
3日目	講義： 質的研究分析のイントロダクション、ツールの紹介
	講義： 質的研究事例（フィールドへの応用）
	演習： 質的研究論文/報告書読解、ディスカッション

講師のプロフィール、研修留意事項、応募方法詳細は、次ページをご覧ください。

講師プロフィール

松山 章子氏 (津田塾大学多文化・国際協力学科 教授)

専門は、「開発と女性の健康」、「医療人類学」。ハーバード大学公衆衛生大学院 (MPH)、ジョンスホプキンス大学公衆衛生大学院 (Ph.D.) 修了。国連 (UNICEF)、NGO、JICA専門家などを経て2005年長崎大学国際連携研究戦略本部准教授に就任し、2010年から2017年まで長崎大学国際健康開発研究科および熱帯医学・グローバルヘルス研究科の教授を務める。2019年4月より、津田塾大学学芸学部多文化・国際協力学科教授に就任。これまでフィリピン、パキスタン、バングラデシュ、ネパール、インドネシアなどに赴任し母子保健、社会開発の分野の国際協力活動や研究に従事。

参考文献

1. 松山章子 『国際保健研究における医療人類学のアプローチ—観察と記述に基づいた質的研究』、日本国際保健医療学会雑誌、2011年、第26巻、第2号、pp81-92
2. ウヴェ・フリック、小田博志他訳、「質的研究入門—人間科学のための方法論」、春秋社、2002年
3. H. Russell Bernard. Research Methods in Anthropology: Qualitative and Quantitative Approaches. Altamira Press. 2006.

留意事項

- ① 研修は日本語で行いますが、**資料は主に英語**となります。当該分野の用語は、英語で表現されることが一般的であり、実用性を考慮し、英語表記のままとさせていただきます。
- ② 講師の専門が「開発と女性の健康」および「医療人類学」のため、研修で用いる事例等は保健医療分野のものとなりますが、保健医療分野以外の方々にもご理解いただける内容です。
- ③ 研修会場ではインターネット接続の提供はございません。ご了承ください。
- ④ 修了証書は、80%以上の出席をされた方に発行します。
- ⑤ 受講費をお支払いいただいた後の辞退につきましては、事務手数料5,000円と、当財団による振込手数料(実費)を差し引いた額を返金いたします。なお、研修当日の辞退につきましては、受講費全額をお支払いいただきます。

応募方法詳細

■ **応募方法**：オンライン応募フォームよりご応募ください。下記URLへアクセスし、「応募フォーム」ボタンをクリックしてください。https://www.fasid.or.jp/business_management_course/7_index_detail.php

応募締切後 2 営業日以内に、応募者ご本人様へメールにて受講の可否および受講費の支払い方法等についてご連絡します。

■ お問い合わせ先：

一般財団法人 国際開発機構 (FASID)
人材開発事業部 担当：山本還・原田
電話：03-6809-1996 / Email : srm-qltv@fasid.or.jp
住所：東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル6階
<http://www.fasid.or.jp>

■ 研修会場：

一般財団法人 国際開発機構 セミナールーム
東京メトロ日比谷線 神谷町駅 1番出口より徒歩6分
都営大江戸線 赤羽橋駅 中之橋口/赤羽橋口より徒歩7分
都営三田線 御成門駅 A1出口より徒歩10分



FASIDメール自動配信サービスのご案内



FASIDからの最新情報をEメールで受け取ることができる無料配信サービスがあります。Eメールアドレス、氏名等を登録いただくと、FASIDからの最新情報が送信されます。登録の解除、受信メールアドレスの変更も簡単に行うことができますので是非、ご利用下さい。

詳細は、[こちら](#)↓をご覧ください。

https://form.fasid.or.jp/maillservice/user_contents.php